

子どもの安全を守る特集号

夏休みから、不審者事案が多発しています。学校が把握しているだけでも、こんなにあるのです。

7月25日	電話で、女子児童(4年生)に不審な内容をいろいろ聞く。
8月1日	緑町で、男子中学生に「おいで」と声をかける。
8月21日	飯島で、男子中学生(2年生)がナイフで切りつけられる。
9月4日	吉浦で、女子児童(6年生)に声をかけ、車に連れ込もうとする。
9月5日	緑町で、女子中学生に、「靴下を売って欲しい」と声をかける。
9月6日	五十公野で、男子児童(1年生)に「早く車に乗れ」と声をかける
9月6日	貝塚で、男子児童(4年生)に「車に乗せてあげる」と声をかける。

どれも、一歩間違えれば...と、ヒヤッとする事案です。中川地区の近くで起こっているのにもハッとします。大きな事件が起きる時は、小さな事件が30回は起きており、このような「ヒヤッとハッと」が300回ある、と言います。この「ヒヤッとハッと」の段階で、事件を未然防止する体制を整えることが重要です。

中川小学校では、次のような手立てを取りました。

(1) 警察関係者との情報交換

- ・古川駐在の平野様に連絡。各事案の情報を聞き、児童への指導を依頼する。

(2) 緊急防犯訓練の実施

- ・警察関係者から、犯罪に合わないための方法を学ぶ。
- ・登下校などの路上で不審者に会った場合の演習(シミュレーション)を全児童が体験する。
- ・安全ボランティア、スクールカードリーダーの方を児童に紹介する。

(2) 安全ボランティア協議会

- ・中川小学校安全ボランティア組織を再確認し、情報交換する。

(4) スクールガードリーダーとの連携

- ・パトロールの日程を確認し、安全体制の点検をする。

(5) 避難訓練の実施

- ・休み時間の地震を想定し、児童が自分の判断で避難できるか訓練する。

これらの指導は、家庭と連携してこそ効果があります。学校でどんな内容を学習したか聞き、補強してください。そして、日常的に「ヒヤッとハッと」を見逃さず、継続指導していきましょう。

後半は、先日の一泊二日参観・祖父母参観の様子を載せました。2学期スタートから、さまざまな取組でフル回転です。学校便り1枚では、書ききれませんでした。

防犯教室。多くの参加者で実施しました。



緊急防犯教室 ドキドキの子ども達

児童・職員・警察・安全ボランティア・区長さん...多くの参加者で実施しました。
平野駐在さんからは、次のような指導がありました。

誘拐されないために、気を付けること
 学校の行き帰りは、友だちと通学路を通る。
 遊びに行く時は、どこで、だれと遊ぶのか、いつ家に帰るのかを家の人に言ってでかける。
 一人で遊ばずに、友だちと遊ぶようにする。
 知らない人から「おもちゃを買ってあげる」「おもしろいところに連れて行ってあげる」と言われても、ついていかない。
 知らない人から道を聞かれたら、その場で教えるか、大人の人にたのむ。



掲示物を使って説明する駐在さん

「不審者に連れて行かれないためには、どうしたらよいか」という質問が出て、川尻の区長さんから、次のようなお話もいただきました。

悪いことをする人は、実はビクビクしている。「助けてー！」のような大声を出せば、不審者もびっくりする。その声を出せるように、練習しておくことが大切だ。

スクールガードリーダーの本田正司さんの紹介、お話もありました。(次ページ参照)

そして、各学級で、実際の動き・声の出し方などの演習をしました。身に付けるスキルは、次の内容です。

- ・道を尋ねられた場合などには、相手の手が届かないくらいの距離をおいて対応する。
- ・身の危険を感じた場合には、大声を出す・大人を呼ぶ・近くの民家等に助けを求める。
- ・相手の特徴や車の車種、ナンバー等を覚えておく。(例：着ていた服は何色でしたか?)

どの子ども、真剣でした。顔を赤くして、声を出していました。ドキドキの緊張感に、目が潤む子もいました。

こんな感想がありました。

写真から、その雰囲気伝わって来ませんか。

○大声を出そうと思ったけど、声が出なくて、ひと言も言えませんでした。Mさんは大きな声が出ていてすごいと思いました。

○自分がやる時は声が出なかったけど、ブザーがあったから役に立ちました。これからも持って出かきたいです。



身振りを入れ、様々な事例を話す駐在さん

真剣にはなしを聞く子ども達



安全ボランティアの方も参加

1年生はドキドキの初体験



質問に対し、川尻の区長さんからも助言

不審者の特徴を覚えているか試す5年生



安全ボランティア協議会

防犯教室の後、安全ボランティアの皆様と情報交換を行いました。

- ・安全ステッカーやシートを車に貼っている。
- ・はずかしい気持ちもあるが、子どもには安心感がある。
- ・黄色い防犯帽子をかぶって外出している。
- ・それらが、犯罪の抑止力になる。
- ・ながらパトロールをしていると、見知らぬ車やバイクがよく分かる。
- ・日が短くなるので、一人で帰らない指導が必要だ。
- ・区長会でも防犯に協力していきたい。

などのお話が聞けました。

防犯グッズも、再配布しました。ステッカー・帽子など若干余分があります。ご協力いただける方に差し上げますのでご連絡ください。



スクールガードリーダー紹介

本年度、子どものために活動して下さるのは次の方です。



ほんだ まさし 様
本田 正司 様

警察官 OB で、9月から12月下旬まで、学校や通学路の巡回指導と評価活動をしてください。見かけたら、労いの一言をお願いします。

ストップ・ザ・いじめ
～やめよういじめ 許さないじめ～

いじめ根絶にいがた県民会議



予告なし！休み時間の避難訓練

事件・災害は、突然起こるからあわてて被害が広がります。訓練は、予告なしで行ってこそ、その意味があると言えるでしょう。2学期の避難訓練は、休み時間中、予告なしの実施でした。放送から避難完了まで2分間。教師がついていないにしては、まずまずです。一人行方不明という想定で、その子を職員が探す訓練も行いました。常に、新しい工夫を取り入れています。



左：自分の判断で避難場所に集まる子ども達。

中：中越沖地震の例を話す校長先生。

右：各所で監視した職員からも指導。

これがAEDです

AEDを学校に設置

心臓が停止した傷病者を救う有効な機器、AED（自動体外式除細動器）が中川小学校に設置されました。緊急時には、ご活用ください。生徒指導主任から児童への説明もしました。



1日参観・祖父母参観・てくてく発表会

9月12日は、上記のような盛りだくさんの行事がありました。各学年の祖父母参観は次のような企画でした。

1年生「教えてください、昔の遊び」	2年生「歌で遊ぼう-かくれんぼ・おちゃらかほい等」
3年生「ぼくのいいところ-お家の人からの手紙」	4年生「昔の道具の使い方」
5年生「グラウンドゴルフ」指導者を迎えて	6年生「仕事についてインタビュー」

他にも国語・算数はもちろん、道徳・総合的学習などバラエティーに富んでいました。



昔の遊びをいっしょにする1年生



お家の人といっしょに歌う2年生



おじいさん・おばあさんの手紙を読む3年生



昔の道具の使い方を教えてもらう4年生



グラウンドゴルフを祖父母と楽しむ5年生



職業についてインタビューして考える6年生

てくてく調べでは、次のような内容がありました。(ほんの一部です)

1年	SH	きゅうりがたべられるまで	きゅうりの赤ちゃんが食べられるようになるまでを、毎日観察しました。
1年	SM	あさがおのかんさつ	生活科で育てたアサガオを、夏休みの間、観察してまとめました。
2年	SE	下草荷調べ	自分の住んでいる所をはなれ、町の様子を調べました。写真や地図でまとめました。
3年	UM	みやくはく調べ	いろいろな活動の後のみやくを家族分調べた。大きい動物と小さい動物のみやくも調べた。
3年	KI	ローソクのつくり方ととけ方	家庭から出る廃油を使って実験した。見ている子どもの反響も大きかった。
4年	MK	夏の星座と星	実際に観察し、それにまつわる伝説をまとめた。
4年	RY	家にある昔の道具	家にある昔の道具をさがし、その使い方や、今との違いなどを調べた。
5年	HH	いろいろな花調べ	家にある花の中で不思議だと思う花について、育て方などを調べた。
5年	MK	我が家の夕食の食品調べ	我が家の夕食はバランスが取れているのかについて調べた。
6年	AO	ドッジボール調べ	ドッジボールのルール、県内のチーム、強豪チームのコーチへのインタビューなど。
6年	MH	植物の研究	植物に色水を吸わせた時の色や様子の変化等を調べた。吸われた水は一方通行、混ざらないという結果を得た。



下学年は図書室で

上学年は体育館

